

1. セッション名
国際宇宙探査

2. オーガナイザ氏名、所属、連絡先(電話番号/メールアドレス)

代表	氏名	所属	連絡先
	佐藤直樹	JAXA	

3. 概要

2018年3月に、国際宇宙探査に関する政策レベルの協議である国際宇宙探査フォーラム(ISEF2)が東京で開催され、国際宇宙探査の原則や共同声明などが採択された。一方、ISECGでは最新の各国の宇宙探査に関する政策や計画などを反映した国際宇宙探査ロードマップの第3版(GER#3)をとりまとめて2018年1月に公表した。GER3はISEF2の共同宣言でも引用された。国内の政策としては、2017年12月の宇宙基本計画の改定で、月近傍拠点や月面探査計画に向けてのシステム検討やキー技術の実証を進めることなどが決定された。JAXAでも先導研究として宇宙探査のキー技術の研究や、シナリオ検討、ミッション検討などを進めている。

このような状況を踏まえ、日本が国際宇宙探査に参加する場合に、限られる予算の中で日本がどのような役割を果たすべきかについては戦略的に検討するとともに、幅広く関係者で議論することが重要であることから、国内外の状況について共有するとともに、参加者とともに日本としての役割について議論を行う。

4. セッション構成、発表件数

3セッション、発表件数14件

5. 個別発表題目と著者、所属、講演登録番号(発表順)

司会：佐藤直樹(JAXA)

セッション #	発表題目	著者	所属	講演登録 番号
1	国際宇宙探査ロードマップ第3版概要と各国状況	佐藤直樹	JAXA	
1	第2回国際宇宙探査フォーラム (ISEF2)の結果と展望	倉田佳奈江	MEXT	
1	JAXA の国際宇宙探査シナリオ案	佐々木宏	JAXA	
1	理工学委員会専門委員会からの提言	久保田孝 春山純一	JAXA	
2	月の科学探査意義	橋爪光	茨城大学	
2	月極域探査ミッション検討状況(ミッション)	鹿山雅弘	東北大学	
2	月極域探査ミッション検討状況(システム)	星野健	JAXA	
2	月極域探査ミッション検討状況(着陸地点)	井上博夏	JAXA	
3	月軌道ゲートウェイの検討状況	中野屋壮吾	JAXA	
3	有人月面探査スケールデモミッション	森戸俊樹	JAXA	
3	有人月離着陸船及び有人与圧ローバの検討状況	降旗弘城	JAXA	
3	三菱電機の宇宙探査への取組み	蒲原信治	MELCO	
3	ispace の月探査・資源開発と新たな産業創出	中村貴裕	ispace	
3	国際宇宙探査にかかる法政策の現状と課題	高屋友里	東京大学	